

令和7年度 県高P連 定期総会・研究協議会開催



▲木村新会長挨拶

令和7年度の岩手県高等学校PTA連合会（以下、県高P連）定期総会および研究協議会は、サンセール盛岡にて6月4日に開催されました。県内63校から、会長や校長、事務局長などを含む222名が出席しました。来賓には、岩手県教育委員会生涯学習文化財課の藤井茂樹総括課長や、岩手県高等学校長協会の中村智和会長、一般社団法人岩手県PTA連合会の山下泰幸会長、岩手県高等学校教職員組合藤澤大副執行委員長にお越しいただきました。

賞に輝き、優良賞には遠野高校をはじめとする5校が選ばれました。受賞者を代表して、大船渡東高校の大坂氏は「大会や研修などに参加し、さまざまな経験ができました。役員をやらせていただき良かったです」と、挨拶を述べました。

議事の中では、事務局より会務報告や収支決算などのほか、昨秋に開催した「保護者つながる交流会」が好評だったことが報告されました。グループトークでは、参加者がリラックスして情報交換する様子が見受けられ、今年度も同じスタイルで開催を予定しています。

また、今年度の県高P連会長には、盛岡第一高校の木村元思氏が就任しました。「学生時代にお世話になった恩師や先輩方に、PTAを通して再会できました。こうした出会いがあるのもPTAならではだと思います。これから皆さんのお力を借りて、任期を務めて参ります」と語り、前会長の川上博基氏へ感謝状を贈呈しました。

今年度は102名が個人表彰されたほか、広報誌コンクールでは黒沢北高校が最優秀賞を受賞。盛岡第二高校および盛岡北高校が優秀賞を受賞しました。

川上前会長も「任期中に印象的だったのは母親委員会と健全育成委員会の統合で議論を重ねられて良かったと感じています。皆さんに助けていただきながら、楽しく過ごさせていただきました」と語り、前会長の川上博基氏へ感謝状を贈呈しました。



▲岩手県教育委員会生涯学習文化財課藤井茂樹総括課長



▲前会長へ感謝状贈呈



▲個人表彰受賞者の皆様

川上前会長も「任期中に印象的だったのは母親委員会と健全育成委員会の統合で議論を重ねられて良かったと感じています。皆さんに助けていただきながら、楽しく過ごさせていただきました」と語り、前会長の川上博基氏へ感謝状を贈呈しました。

〈講演〉

演題 自然に学び、伝える

―『森からみれば』と教育



講師 齋藤 暖生氏
(東京大学樹芸研究所・所長)

齋藤氏は一戸町出身で、盛岡第一高校を卒業後に京都大学農学部へ進学。森林・人間関係学などを専門とし、富士癒しの森研究所所長を経て2023年より現職に就任されました。2024年3月まで、朝日新聞にコラム「齋藤暖生の森からみれば」を連載。今回は同コラムをもとに、森から得る学びや現実

代社会が忘れかけている森と人とのつながりについて講演いただきました。齋藤氏は、大量生産や大量消費が自然のサイクルに合わないことや、「コスバ」で時間を大切にしているように見えて、実はそこに至るまでの道のりを軽視している可能性がある」と解説。これからの世代に必要なのは、自分の欲望を満たすために自然の理を歪めるのではなく、自然が長い時間をかけて構築してきた仕組みや、それに適応してきた人々の中に学びを得ることが大切だと語りました。

ました」と、挨拶を述べました。

なお、事務局から入学式後のPTA入会式をPTA説明会へ名称変更して実施した学校が多かったことが報告されました。今後はPTA未加入問題等について、会長研修会・事務局長研修会などで情報発信していく他、対応に苦慮した際は事務局へ相談いただくよう伝えられました。

総会後の研究協議では、「高校生のメンタルヘルスについて」と題し、精神保健福祉センターの遠藤仁所長が登壇。自ら命を絶ってしまう高校生の動機や現状、報道や教育の現場において留意することなどを解説しました。心の問題は誰もが抱える可能性がある一方で、周囲の人から気づかれにくいという難しさがあります。相手の話に耳を傾



ける「傾聴」や、岩手県が行う再発防止「岩手モデル(TSUBASAモデル)」などが紹介され、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。閉会後は教育懇談会が行われ、出席者は和やかな雰囲気の中で互いに交流を深めました。

新しい「みらい」を目指して



岩手県立南昌みらい
高等学校 PTA会長
女鹿 隆徳



新たな校訓は「友愛」「共創」「日新」とし、盛岡南高等学校、不来方高等学校の両校の校訓を引き継ぎつつ、新しいことに挑戦し向上をめざして学校生活を送ってほしいという願いを込めております。

令和7年4月、盛岡南高等学校と不来方高等学校が統合し、南昌みらい高等学校が開校いたしました。今年度、1年生8クラス、2、3年生11クラスずつ、併せて30クラス、全校生徒1163人の最大規模の県立学校となり、新たな船出となりました。統合に際しましては、関係する皆様より多くのご意見やご助言をいただきましたことをこの場を借りて感謝申し上げます。

まだ始まったばかりの統合校としての学校生活の中で、生徒たちは日々新しい経験を重ね、仲間とともに未来を切り拓こうとしています。その姿に私たち保護者も感化されながらPTA活動に参画し支えあっていくことが大切だと感じております。また活動内容

については時代にあった持続可能な形式を模索し、負担の少ない効率的な運営を目指して参りたいと考えております。

今後とも本校PTA会員をはじめとする皆様のお力添えとご理解を賜りますようお願い申し上げます。南昌みらい高等学校が希望にあふれた学び舎として地域に根ざし発展していくことを心より願っております。



岩手県学生会館入寮生募集

～初めての東京生活を支える安心の寮生活～



【会館施設概要】
●所在地
〒171-0043
東京都豊島区要町
2-5-5
JR池袋駅まで徒歩15分、東京

京外口要町駅 徒歩5分

●資格

岩手県出身者で大学院、大学、短期大学、専門学校等に通学する人

●寮費(令和7年4月1日より改定)

月額90,500円(朝夕2食・自治会費含む)

入寮時諸経費 入 寮 金60,000円

寮維持資金60,000円

●室内 洋室13.5㎡(全室個室)

●設備 机、本棚、ベッド、クローゼット、洗面化粧台、冷暖房器等

【申し込み・問い合わせ】

公益財団法人 岩手県学生援護会(岩手県学生会館内)

TEL:03-3972-4783

※募集要項、申込書類はホームページから

<http://www.gakuseikaikan-iwate.or.jp/>

請求なければ支払いなし

(一社)全国高P連賠償責任補償制度

PTA単位で加入する制度で発足後24年目となりました。

令和7年5月1日現在

〈加入状況〉

岩手県 64校 21,088人

〈事故の際は〉

全国高P連賠償責任補償制度事故受付電話

0120-720-110(24時間365日受付)

岩手県高P連高校生総合保障制度

〈加入状況〉令和7年5月12日現在 2,151人

Aプラン(病気補償あり) 60校 1,096人

Bプラン(病気補償なし) 55校 491人

Cプラン(自転車重点型) 52校 564人

〈お問い合わせ〉AIG損害保険株式会社盛岡支店

TEL 019-651-0584

みなさま、はじめまして。岩手県高等学校PTA連合会の会長に就任することになりました木村元思(きむらもとし)と申します。はじめに、最近の出来事をふまえながら自己紹介をします。

私は昭和54年に盛岡市に生まれ、今年で46歳になります。家族は妻、長女、長男、次女、猫3匹で、私以外の4人3匹は全て家庭内与党員です。年々孤立無援化していく一人野党党首である私は、この状況を打開するため、昨春、私を支える野党員を増やそうと画策しテラスでメダカの繁殖に挑戦しました。すると、5月以降の繁殖期を境に3か月で数百匹の針子がふ化するベビーブームが到来。一瞬にして与野党の数的逆転を実現します。さらには、成長したメダカを近所の無党派層のご家庭に配り歩き、周辺地域との包括的な互惠関係を築こうと「メダカ外交」に勤しみました。ついには、そんな父の姿を間近で見ていた我が家のアイドル(当時6歳の次女)から羨望の眼差しを受け、いよいよ結婚生活18年目にして初めて家庭内政権奪還への兆しが見えたのです。

ところが、浮ついていて私をあざ笑うかのような出来事が起こります。盛岡市のシンボル鳥「セキレイ」の領空侵犯をゆるし、手塩にかけて育てたメダカが食害に合い全滅。一瞬にかけて一人野党へと逆戻り。その日以降、与野党首の妻からはメダカ養殖の安全管理体制に関して厳しい追及を受けるも、未だ明確な対策を打ち出せぬまま今日に至ります。

このように家庭内で非常に頼りない私は、輝かしい実績を重ねてこられました川上会長の後任ということで正直荷が重いと感じております。PTA活動の経験も浅いことから、多くご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、他のPTA役員の方や、先生方、保護者のみなさまのお力をお借りしながら職責を果たしていきますので、何卒宜しくお願いいたします。



ご挨拶

岩手県高P連会長
木村 元思

無理のない 持続可能な PTA活動

岩手県立宮古高等学校
PTA会長

及川 元



大正12年、宮古実科高等女学校として発足、令和5年に100周年を迎えた宮古高校は、現在102年目の歩みを進めています。私は100周年の年、令和5年度からPTA会長を拝命しておりますが、それ以前のコロナ禍である約4年間にPTA活動を担った前会長（同級生たち）は、大変な思いをしながら活動してきたのだらうと感じています。文化祭である「宮高祭」の催しの一つに「白銀の星」というものがあります。校章がエマーソンのことば「汝が希望を星にかけよ」に由来し、白銀の星は希望の象徴であることから名付けられ、厳しい制約の中、高校生活を送る生徒たちに、保護者から「応援メッセージ」を伝えるというものです。人生の中での貴重な高校生としての時間で、コロナ禍という暗く落ち込みそうになる状況に、保護者かつ人生の先輩として「希望を見出してほしい」「何かしてあげたい」という気持ちを、公開されない文化祭の場で表したものであらうと思います。現在も「白銀の星」活動は継続していて、加えて



▲登校時一声運動



▲文化祭縁日



▲体育祭ジュース提供

金ヶ崎高等学校 の魅力

岩手県立金ヶ崎高等学校
前PTA会長

佐藤 和重



金ヶ崎高等学校の魅力は多々ありますが、その中でも「生徒・先生・保護者」がとても近い関係にあると思っています。小規模の学校ではありますが、それを存分に生かし、先生方は全ての生徒に対し、一緒に考えて一緒に悩んで一緒に泣いて、一緒に喜ぶ。そんな光景が当たり前のような学校です。この環境の中で育つ、子供達や保護者は本当に幸せでした。

PTA活動についても、多くの皆様にご協力を頂きました。夏に開催された青陵祭では、各クラスの企画や、総合探究の発表、また合唱や吹奏楽部による演奏など、生徒達の日頃の成果を見ることが出来ました。また、保護者の皆様が中心となり開催した「かき氷」については、生徒や先生方はもちろん、多くの来校者の方から好評を頂き、青陵祭を盛り上げて頂きました。他にも、PTA健全育成委員会の皆様が中心となり、朝早くから生徒の皆さんと先生方で、昇降口に立つて積極的に挨拶運動を行って頂きました。自分の



▲文化祭 模擬店「母のガチ氷」



▲クラスマッチ 母親委員から氷菓の差し入れ

子供がお世話になっている、この金ヶ崎高校に、保護者として出来ることは何かを常に考えて頂き、そして実行をして頂くことに、改めて感謝と敬意を表します。このような風土を大切にしながら、引き続きこの金ヶ崎高校の発展に寄与出来ればと考えております。

「応援メッセージ」が掲げられる教室で母親委員会を中心にバザーが催されています。宮古高校は進学校ということもあり、我々保護者が関わる行事は多くありません。文化祭の他、夏と秋に「登校時一声運動」という取り組みがあります。これらの催し全て、気軽に無理なく参加できるものとなっています。生徒数の減少に比例し会員数も減少している現在、無理なく関わることがPTAの運営を持続的にしていくのかもしれない。

編集後記

会員の皆様には、日頃からPTA活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。今年度、一回目の会報をお届けしました。調査広報委員会では皆様のPTA活動に役立つような誌面作りに努めて参りたいと思いますので、よろしくお願いたします。

さて、各学校におかれましては、今年度も四月から新体制のもとでの活動が始まっているものと思います。PTAとしても子供が安心して有意義な学校生活を送ることができるよう、保護者、教職員、地域の皆様との連携を図りながら、活動して参りたいと思います。

いつの時代であつても様々な問題があり、多種多様なニーズに对应していかなければなりません。時代の変化による問題はありませんが、PTA活動において変わらないもの、それは子供たちのためということ。子供たちが希望を持ち、力強く未来へ向かっていけるよう、笑顔でいられる環境作りに貢献していきたいと考えております。子供たちが笑顔でいられるために私たちに何ができるのか。次の世代に繋げられるように皆様の協力を頂きながら活動をして参りたいと思います。最後にご多忙のところご寄稿いただいた皆様に感謝申し上げます。

岩手県立軽米高等学校 PTA 会長

立桶 善孝

〈編集委員〉令和7年度調査広報委員会

委員長 小野寺幸司（福岡高校）
副委員長 立桶 善孝（軽米高校）
委員 新坂 正章（南宮みらい高校）
平賀 弘典（花北青雲高校）
及川由里子（高田高校）
駒木 広枝（福岡高校）
佐藤 尚（高岡P連）
木村 智子（県高P連）

◇事務局

佐藤 尚（高岡P連）
木村 智子（県高P連）